

鎌倉街道 山口・小手指ルート(西コース)を歩く

2019.6.7記 戸田チイ子

実施日 2019年6月6日(木) 9:30～15:00

参加者 17名

集合場所 東村山駅

今回の西コースは東村山駅を出発点として山口、小手指、北野、若狭と抜けていく小手指道と呼ばれる鎌倉街道の枝道で歩行距離は約7kmです。今回も先導役は鎌倉街道や狭山丘陵に詳しく、鎌倉街道の文献と地図を基に事前研究や下見していただいた佐藤さんです。この日は関東地方梅雨入りの前日で30℃を超え、陽の照り付ける暑さの中をみんなで休憩・水分をこまめに取りながら熱中症にかからないよう注意しながら歩きました。

まず、東村山駅9:30集合。9:10頃には大半の参加者は集合しており意識の高さにビックリ！全員揃ったら時間ぴったりに出発です。駅前の信号を右に進み、踏切は渡らずに左に曲がり、弁天橋を通り過ぎて弁天池公園でまず「全員集合」の記念写真(ここはドリフの志村けんの生地です)。



今日は北山公園の菖蒲祭りは目をつむり、正福寺に立ち寄り、鎌倉円覚寺舍利殿と同様な建築様式美をもつ国宝の地蔵堂を見学しました(9:50～10:00)。正福寺の前の道を真っすぐ進み狭山公園を目指します。公園の中で一休みし、公園の中にひっそりと鎮座している多摩湖町の鎮守「氷川神社」を詣でました(10:30～10:45)。目立ちませんが神社の脇を通る細い道が旧鎌倉街道です。うっかりすると見落とし

てしまうような道ですが、いかにも遠い昔を思い起こさせるような古道です。この道に沿って木立の中を歩き、多摩湖畔からそして西武園ゴルフ場の方に向かう脇道に入り、少し早めの昼食場所(四季料理・水石音季=せせらぎとよむ)に向かいました。事前に予約しておいた魚料理3種のそれぞれの好みの昼食を、エアコンの効いた涼しい室内で和気あいあいと取ることができました(11:15~12:00)。



昼食後は山口を経て中氷川神社境内で小休止(12:35~12:45)。中氷川神社は大宮氷川神社と奥多摩 奥氷川神社の間にあるので中氷川と呼ばれているそうです。境内には旧勝楽寺村から移されたものもたくさんあるそうです。神社の近くの鎌倉街道の古道の雰囲気を残す切通の急坂は暑さと食後の体にはきついです。ここを通り抜けると椿峰にでますが、このニュータウンに住んでいる方が所沢のチベットと言っておられましたが、二つ目の急坂を登り切ると椿峰小学校の前に出ました。この付近の鎌倉街道は椿峰ニュータウン開発や道路の拡張等で寸断されていて、元の街道は定かではないようです。小学校の脇から北野神社に向かい、到着後木陰に入りゆっくり休憩しました(13:20~13:45)。今、神社には令和改元を記念して藁で精巧に作られた馬がテントの中にいます。



ここからは鎌倉街道小手指道が再び続きます。歩く道の先には小手指が原古戦場跡、白旗塚と続き埋蔵文化財センターでトイレ休憩を取りました(14:20~14:30)。休憩後、誓詞橋を通り今日の終着点の狭山ヶ丘駅に予定通りの時間(15:00)に元気に到着しました。暑い中、皆様本当にご苦労様でした！

秋には東コースも予定されているのでまた頑張りましょう。

担当：Dグループ